

# Pichant ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第20号



## ななえ古写真物語

VOL. 20

### ななえの水

～七飯東部水道組合工事～

昭和5～6年ごろ

鳴川付近

七飯町は、町域の大部分が山林のため、森林のはたらきによって蓄えられた雨水が、各所で湧水となって湧き出でて、古くから活用されてきました。このことは、町内で確認されている縄文時代遺跡の分布からも伺い知ることができますし、ななえの地名由来に、又アンナイ（豊かな沢）やナムナイ（冷たい沢）といった水に関係するものが多いことから想像できます。

特に、横津岳山系のはたらきによって自然ろ過され、蓄えられた豊

富な水は現在、七飯町民の生活を支える水道水として活用されています。さらに付け加えると、北海道の約8割の市町村が河川や湖沼、またはダムを水源としているのに対し、七飯町は、横津岳山系が自然のダムの役割を果たし、安全でおいしい水を確保できているのですから、ことさら自然の恩恵に感謝しなくてはなりません。

さて、そんな七飯町の水道の歴史をひも解いてみますと、明治36年6月に、七飯村共立水道組合が設立され、240間の水道を布設したのを皮切りに、大正8年には大沼の市街地に上水道を布設、昭和3年には大沼水道組合を結成し、大沼公園周辺にも上水道がひかれました。そして、昭和4年に七飯東部水道組合が設立し、鳴川を中心に水道を布設しました。

上の写真は、昭和5・6年頃に行われた七飯東部水道組合による水道布設工事の様子を撮影したもので、場所は現在の鳴川バス停付近と推測されています。写真の左手前には、3本の水道管が横たわり、これらを順次、溝の中央部に設置している様子になります。また、溝を掘っている男性の右側には、くみ上げられた水がこんこんと桶に流れこみ、作業を見守っている人々の服装や舗装されていない道路からも、年代の古さを想像できます。

清らかでおいしい「ななえの水」。それは自然の力で生み出されていることを忘れずに・・・。

## 1日

夜の博物館第2回目は、縄文土器作りをしました。学芸員から説明を受け、作業開始です。皆さんとても集中しており、製作中はほぼ無言で取り組んでいました。約2時間かけて作り上げた土器を前に皆さん充実した表情をうかべていました。



集中する受講者



完成した土器



出発-

## 20日

町内の小学校に通う4年生以上の児童を対象に、昆虫採集・標本づくり教室を開催しました。

バスで仁山スキー場へ移動し、専門家の先生方と一緒に、昆虫採集開始です。子ども達はチョウやトンボを見つけると一目散に追いかけていました。

午後からは歴史館に戻って標本づくりに挑戦です。はじめは恐る恐る作業していた子ども達でしたが、先生方に教えてもらいながら頑張りました。標本は2週間ほど乾かし完成です。このピチャリが発行されている頃には、みんなの手元にあるかな？



捕まえた!



標本づくりに挑戦!

## 28日

ジュニア探検クラブで、木古内町蛇内2遺跡の見学と発掘体験をさせて頂きました。小さかったですが続々と土器や石器の破片が見つかり、子ども達は大喜び。現場の方に教えてもらいながら夢中で掘った一時間でした。

その後、北斗市の男爵資料館を見学しました。広い館内には西洋の農機具や道具、七飯町が発祥である男爵いもの生みの親・川田男爵について展示されていました。

帰りの車内でも、子ども達は元気いっぱい。歴史館から移動して、遠足のように楽しかったようです。



発掘について勉強中!



土器を見つけるぞ~



男爵記念館で見学中

### 編集後記 ~tawagoto~

この間、仕事で大沼森林公園を訪れたのだが、おどろくほど蚊が多かった。何よりも、虫除けスプレーの効果がないのにはまいってしまった。肌を出さない格好だったにも関わらず、彼らは、あっという間に顔や腕にくいついて、血を吸っているのである。今年の蚊の異常発生は、どうやら6~7月の寒さなどが原因みたいだが、まだしばらくは、集団でまとわりつく彼らと格闘しなくてはならぬようだ。

(やまだひさし)

## 9月の予定

1	火
2	水 夜の博物館
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日 世界に一つだけのリンゴジャムづくり
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土 ジュニア探検クラブ
27	日 横津の植物観察会(予定)
28	月
29	火
30	水
31	木

・定員 20名位(先着順)  
・対象 小学生児童と一緒に参加できる親子  
・参加料 100円

9月の休館日はありません。

### ななえの自然誌 開催中

企画展示室にて、9月6日まで昆虫標本や草花・樹木標本、鳥の剥製などを展示しています。ぜひご来館下さい。(A)



# Picharr

~ピチャリ~

第20号

平成21年8月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp